

# 飲水思源

自動車販売のリーダー

## □ 菊池武三郎伝

27

トヨタ自動車販売店協会の相談役となった菊池武三郎は、協会の山口昇体制の確立に協力する立場を取った。全国的な販売指導の第一線を退き、地元奈良での業界発展に意識を傾けるようになる。

武三郎がディーラー指導者だった期間は、日産の販売組合長になった昭和14年から、戦時中の自

配の協議会理事長を経て、戦後のトヨタの販売店協合理事長を退任した25年までの約10年間だった。その間、戦争末期では戦時統制の重圧に屈することなく、販売店の自主経営を守るために身を投げ打った。戦後は、

国産車発展のため自由販売体制の実現に奔走した。武三郎の活躍した時代は、いわば乱世であり、

### 武三郎の地元業界への貢献

乱世になくはならない人物だった。

郎が地元奈良の発展、とりわけ県自動車業界発展

に果たした功績は多大なものだったと言える。

支部長に就任。41年、クレジットカンパニーを県

# 県の業界要職を歴任

の信用調査機関として設立(社長)。42

武三郎は、仕事に対しては非常に厳しい人だった。ひとたび仕事に向かうと峻厳な顔になり、いい加減な仕事をすると大声で叱った。しかし、仕事を離れると人情こまやかで、人の面倒をよく見るトップとして部下からも慕われていた。

このような武三



県自動車会館落成式

年譜的に主なものを見ると、昭和32年、奈良トヨタを設立(相談役)。同年、県自動車販売店協会を設立(理事長)。35年、県自動車館設立(取締役社長)。39年、県自動車検査場拡充促進委員会委員長に就任。40年、トヨタパブリカ奈良(現トヨタカローラ)と、トヨタ奈良中古車を設立(いずれも取締役社長)。同年、日本自動車販売連合会理事と県

年、トヨタ部品奈良販売設立(取締役会長)。44年、トヨタオート奈良設立。46年、トヨタレンタリース奈良設立(代表取締役)。同年、日本自動車連盟奈良支部長に就任。このほかにも多くの業界要職を歴任。24年から、奈良商工会議所議員としても地域経済の発展に大きく寄与した。

(文中敬称略)  
〓つづく、毎週金曜日掲載